

背景 豪雨による災害が近年多く発生

- 平成30年7月豪雨では、西日本を中心に記録的な豪雨。大雨特別警報が発表され、時間雨量100ミリを超える猛烈な大雨を観測し、甚大な被害が発生
- 台風は毎年のように襲来
- 猛烈な豪雨が頻発し、災害は近年多発

目的 豪雨本部設置目的、役割

- 平時からハード・ソフト両面での豪雨対策を部局横断的に検討
- 豪雨災害対策の進捗確認
- 県全体の防災や減災の能力を高め、豪雨対策実施体制を大幅に強化

構成 豪雨本部の構成

本部会議

- 重要事項について協議、審議、決定
- 構成員 本部長：知事 副本部長：副知事 本部次長：危機管理部長
本部員：災害対策本部員

幹事会

- 本部会議において協議する事項についての検討、各部局内への周知、調整
- 構成員 幹事長：危機管理部副部長
幹事：各部局主管課長など

チーム

- 必要に応じて設置し、個別テーマで特に必要な事項について検討

概要 豪雨災害対策を平時から部局横断的に推進

■豪雨本部設置の視点

A 平時からの備え

- ①脆弱なインフラの補強（中小河川など）
 - (1)ボトルネックとなっている箇所の対応
 - (2)国への政策提言
- ②豪雨後のダメージへの対応
 - (1)被災箇所の応急対応
 - (2)復旧に向けた対応
 - (3)被災者支援
- ③急激に強くなる大雨への対応の研究
 - (1)行政の対応
 - ・気象台、市町村との連携
 - (2)県民への対応
 - ・命を守るための行動の啓発
 - ・いざという時の情報伝達の工夫

B 災害対応の不断の検証や改善

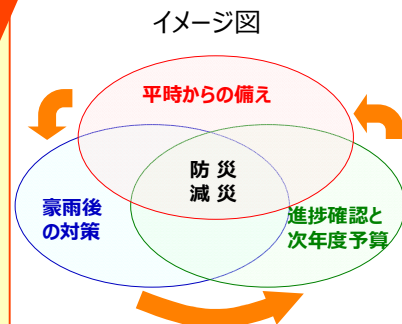
- ①ハード対策
 - ・中小河川や中山間地域の道路の防災対策
- ②ソフト対策
 - ・対応マニュアル等の検証や改善

■推進の3つの柱

豪雨本部では、通年で

- ①平時からの備え
- ②豪雨後の対策
- ③進捗確認と次年度予算

の3つの柱で推進する



■年間スケジュール（イメージ）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
梅雨			台風期			大雨の少ない時期					
豪雨本部会議		災害対策本部会議	災害対策本部会議	災害対策本部会議	災害対策本部会議	災害対策本部会議		豪雨本部会議			
平時からの備え			被災箇所の応急復旧や被災者支援など						豪雨後の対策 進捗確認 次年度予算		